



## 浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1015 2020.10.28 (水)

2020～21年度 RI 会長 ホルガー クナーク

RI2620 地区ガバナー 志田洪顕(静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu  
Harmony RC  
Weekly  
Bulletin

### 会長挨拶

前回の例会は情報共有しとして、会員増強について考える機会とさせていただきました。新会員を増やし、現会員による積極的な参加を促すには、魅力的なクラブ作りが必要であり、まずはクラブを客観的に見つめ、クラブの強みと改善点を考えるということでした。そして、クラブの革新と発展を促す重要な要素であり、ロータリーの中核的価値観のひとつである「多様性」という視点をもって会員増強を考えると大切だということでした。

不慣れな進行で「ロータリー会員現況」について紹介できませんでしたので概略です。この一年間では14,000人の会員が減少したものの、過去5年間の会員数は約120万人であり、現状に適応して強固な会員基盤を維持しています。ロータリークラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることとなり、ロータリーがより革新的、開放的となり、世界における適応力が高まることとなりました。ロータリーでは、男女の人数差が解消され、会員20万人の50パーセントが女性となっています。門戸を開き、すべての人びとが歓迎され、尊敬され、大切な存在であると感じてもらえるクラブでの経験を提供できるよう、「多様性、公平さ、開放性」に注力しています。

入会候補者や特に若い職業人は、全世界に変化をもたらすこと、職業人としてのスキル養成や人脈づくりを通じてキャリアを伸ばすことを望んでいます。一方で現会員は、社会奉仕、友情と親睦、職場や交友関係以外の人びととのつながりに価値を置いています。その動機は異なっているものの、両者ともに「地域社会に良いインパクトを与える奉仕プロジェクトへの参加」が最も価値ある機会であり、会員であり続ける理由であると答えています。クラブで実施するすべての奉仕活動や行事が、リーダーや職業人として成長するための機会です。互いを思いやる最善の方法の一つは、会員が何を必要としているか尋ねることです。ロータリーには2つとして同じクラブはありません。ロータリーがほかの団体と一線を画す理由は、このクラブの独自性です。皆さん全員でハーモニーらしい価値あるクラブを築いていきましょう。

### ゲスト

ミャンマーからの米山奨学生 サイピョーミエンマオ様  
小澤邦比呂様（世話クラブであるパワー浜松 RC）

### 山口勝義



### プログラム

### 米山奨学生卓話

#### 米山奨学生になって得たこと

- ・学資の心配がなくなり、学習時間が増えたこと
  - ・例会参加により、日本人の精神を学ぶ機会が増えたこと
  - ・ロータリーの皆様と奉仕活動に参加でき、貴重な経験ができたこと
- #### 日本に来て驚いたこと
- ・日本の浄水（子供たちにきれいな水、きれいな環境を残したいという思いが強い）
  - ・日本の人口の多さ（同じ時間帯に同じ電車に乗っても、違う顔と出会う）
  - ・「おかげさまで」という言葉（相手への恩恵を奥ゆかしく表す素敵な表現）



### 例会後 青パトにも参加



### 幹事報告

第2700地区より災害支援金お礼状の報告、来年5/28, 29実施の地区大会案内、次週例会の案内  
**親睦委員会**：創立記念例会キャッチコピー募集のお知らせ  
**青パト委員会**：今夜配車の案内

### スマイル

中村皇積（サイ君 小澤様、ようこそおいでくださいました。サイ君のお話と小澤節を楽しみにしています。伊藤様、ごゆっくりお過ごしください）  
袴田雅俊（伊藤芳典さん、本日は例会見学におこしいただき、ありがとうございます。ごゆっくりお楽しみください）



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp